

世界の情勢(ヨーロッパ) II

科目ナンバリング ARS-104
【IV】 選択 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

ヨーロッパの今日を理解するために歴史、社会、政治、経済、文化、暮らしを総合的に学びます。とくに第二次大戦後のヨーロッパを講義テーマとします。そこで戦後の歴史を欧州全体の流れとともに、イギリス、フランス、ドイツといった主要国などの各国事情を学んでもらいます。他国を学ぶことにおいて、全体像を学ぶことが大切。今日のヨーロッパは前大戦が与えた甚大な損害から復興に励み、世界に先駆けた国際的地域連合の建設を目指してきました。それが現代の欧州連合(EU)です。

20世紀に起きた二度の戦争は社会や政治、文化あらゆる分野において、それまで世界をリードしてきたヨーロッパの地位を根本から覆したのです。そこからいかにして復興を果たし、伝統と文化を再び蘇らせて世界的地位の復権を目指したか。同じように戦争から復興し、経済大国となった日本と比較しながら、理解していくようにしたい。ヨーロッパの歴史・社会・文化を学ぶ上では映像資料、とくに戦後制作された映画は重要な教材となります。講義でも機会あるごとに必要な映像資料を観てもらい、学生諸君の理解を助けるために活用していきます。

後期では欧州経済の仕組みを秩序立てている欧州連合(EU)内の統一通貨ユーロや、20世紀の東西冷戦のはざまに置かれ、ソ連崩壊とともに新しいヨーロッパとして復活した東欧諸国、とくにポーランドや旧東ドイツを中心に学びます。

2. 授業の到達目標

前期に準じますが、戦争とその後の東西冷戦によって運命を翻弄されたポーランドや東ドイツなどを学ぶことで、いま繁栄と平和を謳歌している国々が深い傷をおっている背景を理解してもらいます。また、明治維新からこれまで日本に大きな影響を与えてきたヨーロッパを、日本との関係という視点から学ぶことにもチャレンジしたい。ヨーロッパの全般的な知識に加え、日欧関係という視点にも関心をもってもらう。目標は前期と同じで、理解と知識を発表できるようなレベルに高めていくのを目指します。

3. 成績評価の方法および基準

前期を踏襲します。毎回の講義内容をどれほど理解し、知識として蓄積できたか最終回の講義内テストで考査します。講義で配布された資料や自分でノートテイクした内容項目をよく理解しておくこと。映像資料を観た場合を選び、履修生に短いコメント記述を求め、提出してもらい、最終評価に加えます(10%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

前期同様、講義ごとにプリント資料を配布する。講義で使用する映像資料は使用教室や事情によって変更ないし中止する場合もあるので注意すること。

5. 準備学修の内容

ヨーロッパ全体に関した本や映画、解説書を自分の関心にそって読んでおくことと良い準備になる。前期と同様に映画やドキュメント映像を多く使いますから、映画鑑賞の時間ではないのだから、教材としてみてもらうのでノートをとり、関連した本などで知識を深めていくことを求めます。基本的知識の確認と蓄積につとめること。ノートをよくとり、記憶を確かにしていくよう努力することです。

6. その他履修上の注意事項

映像資料を観る際、ノートをとっておくこと。関連した他の映像資料、映画をMELICで観てみることを勧める。基本的な受講ルールは他の講義と同じ。それに違反し、何度が注意をうけるような場合、講義受講を禁止することもありえること心得ておいてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 後期ガイダンス 前期テストを講評し、受講者の論述力の問題点を指摘する。そのうえで後期テーマを概説する。
- 【第2回】 東欧の悲劇 ポーランドその① ナチ・ドイツの残した爪痕 映像資料「カチンの森」(前編)
- 【第3回】 その② 「カチンの森」(後編)と解説
- 【第4回】 ポーランド 国を失う国民体験を重ねた悲劇
- 【第5回】 国家の暗部 フランスの場合 フランス革命とナチ・ドイツへの抵抗の神話を理解する
- 【第6回】 世界の難民問題と取り組みの始まりもヨーロッパから
- 【第7回】 現代の欧州における難民問題の現実
- 【第8回】 戦後欧州で起きた若者たちの反乱 そのスローガンが以後の世界の価値観を変えた事例 パリ五月革命とブラハの春
- 【第9回】 祖国を二度失った人々 東ドイツ国民たち 映画「グッドバイ、レーニン」前編と背景解説
- 【第10回】 東ドイツを考える 英語「グッドバイ、レーニン」後編
- 【第11回】 明治維新の近代日本とヨーロッパの関係史 新国家日本のモデルとなったイギリスとドイツ
- 【第12回】 ヨーロッパの政治指導者モデル 第二次大戦の運命を決めた指導者チャーチル 映画チャーチルの前編と解説
- 【第13回】 政治指導者を考える映画チャーチルの後編
- 【第14回】 ヨーロッパを学ぶことがなぜ重要なのか。人権の普遍的価値(フランス)議会制民主主義(イギリス)を考える
- 【第15回】 まとめと最終講義内テスト